

Q 本館憲一 議員
ふるさと納税において、寄附金の事業使途を具体的に示して、賛同者から寄附を募るという手法のガバメントクラウドファンディングを導入することを検討する考えはないか伺う。

A 市長
現在コロナ禍で、市職員の負担が大きく大変忙しい状況であり、新たな業務をお願いするのは難しい状況。企業のほうで本市に対して、企業版ふるさと納税の具体的な案件があった場合にはしっかりと対応をしていく必要がある。



ふるさと納税の主な返礼品

※QCサークルとは、第一線の現場で働く人々が、継続的に製品、サービス、仕事などの質の管理改善を行う小グループのこと。この考え方、手法などを活用することによ

A 市長
市では、ICTを活用した業務改善を進めており、令和元年度から人が行っている定型的なパソコン操作をプログラミン化したロボットが代替して自動化し業務の効率化に取り組んでいる。その結果、年間で従来3910時間を要していた作業時間が1466時間となり62.5%削減できた。

業務だけでなく企画力、判断力、そして迅速性を求められる状況の中で職員の精神的負担も大きくなり、増加している。職場復帰の場合は、人事異動も含め対応している。

A 市長
令和3年度は、8月末までに病気休暇17人、病気休暇12人であり、罹患者の実人数は26人。昨年同時期の実人数は22人であったため増加している。昨今の業務内容は、市民ニーズの多様化などに伴い高度化、複雑化していることから、定型的な業務だけでなく企画力、判断力、そして迅速性を求められる状況の中で職員



清き1票を待つ投票箱

A 選挙管理委員会委員長
携帯電話やスマートフォンにメールを送信し投票を呼び掛けることは、携帯電話、スマートフォンユーザー情報を一斉に伝達するサービスの緊急速報メールを想定したものと考えますが、このメールの用途は災害避難情報等に限定されており困難と考える。

ふるさと納税

Q 菅原ゆかり 議員
令和2年度から令和6年度まで延長された地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)に取り組む考えはないか伺う。

A 市長
提案する具体的事業が、全国の方にとって魅力的で共感を得られる事業であることが重要。ガバメントクラウドファンディングが適当と判断される事業がある場合には、どの程度期待できるかを含めて検討したいと考えているが、実施に当たっては事業の妥当性を含めて慎重に判断する必要がある。

業務改善

Q 大原 健 議員
業務量が多く多忙のため業務改善を行うべく、QCサークル等の手法を用いるべきと考えるが、所見を伺う。

A 市長
業務改善を進めており、令和元年度から人が行っている定型的なパソコン操作をプログラミン化したロボットが代替して自動化し業務の効率化に取り組んでいる。その結果、年間で従来3910時間を要していた作業時間が1466時間となり62.5%削減できた。

職員の精神疾患

Q 若柳良明 議員
精神疾患の状況と原因および対策について伺う。

A 市長
令和3年度は、8月末までに病気休暇17人、病気休暇12人であり、罹患者の実人数は26人。昨年同時期の実人数は22人であったため増加している。昨今の業務内容は、市民ニーズの多様化などに伴い高度化、複雑化していることから、定型的な業務だけでなく企画力、判断力、そして迅速性を求められる状況の中で職員

投票率の向上

Q 伊藤盛幸 議員
公職の選挙の投票率を上げるため、携帯電話やスマートフォンにメールを送り、投票日や期日前投票について周知する考えはないか伺う。

A 選挙管理委員会委員長
携帯電話やスマートフォンにメールを送信し投票を呼び掛けることは、携帯電話、スマートフォンユーザー情報を一斉に伝達するサービスの緊急速報メールを想定したものと考えますが、このメールの用途は災害避難情報等に限定されており困難と考える。

一般質問

9月定例会では、11人の議員が登壇し、下記の内容について一般質問を行いました。

令和3年第3回花巻市議会定例会 一般質問一覧 (登壇順)

本館 憲一 議員 (花巻クラブ)	①次期総合計画策定について ②ふるさと納税について
若柳 良明 議員 (平和環境社民クラブ)	①新型コロナウイルス感染症対策について ②職員体制について ③職員の精神疾患について
久保田彰孝 議員 (日本共産党花巻市議会議員団)	①生活困窮者への支援について ②小中学校におけるエアコンの使用について
横田 忍 議員 (市民クラブ)	①農業振興について ②中小企業持続支援事業について
羽山るみ子 議員 (花巻クラブ)	①新花巻図書館について ②中心市街地の活性化について ③職員の病気休暇等について ④市長との対話について
照井 明子 議員 (日本共産党花巻市議会議員団)	①介護の課題について ②公共交通の維持について
伊藤 盛幸 議員 (市民クラブ)	①中学校の部活動について ②投票率の向上について
櫻井 肇 議員 (日本共産党花巻市議会議員団)	①新型コロナウイルス感染症対策について ②花巻市個人情報保護条例について
菅原ゆかり 議員 (会派に所属しない)	①市民への通知について ②ふるさと納税について
藤井 幸介 議員 (会派に所属しない)	①東京2020オリンピック関連事業について ②小中学校における新型コロナウイルス感染症対策について
大原 健 議員 (会派に所属しない)	①業務改善提案について ②観光案内表示について ③マンホールカードについて ④コミュニティ・スクールについて

コミュニティ・スクール

Q 大原 健 議員
令和4年度より、コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)がスタートするが、現時点での取り組み状況や課題について伺う。

A 教育長
花巻北中学校区では、学校運営協議会設立準備委員会を立ち上げ、地域住民に対してアンケートの実施やワークショップを開催し、支援のあり方についての検討が行われている。課題としては、新たな組織を設置することから、各種団体との連携の在り方やその人材の確保、中学校区に一つの協議会を設置するが、区内に複数の小学校が設置されている地域間での連絡調整等があげられる。